

■Excelを使った行列の加算

①加算される行列を入力して結果欄の先頭を選択します。

	I2											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1					
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

②「=」を入力して

	TINV											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1		=			
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

③対応する欄を選択します。

	TINV											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1		=A2			
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

④「+」を入力して

	TINV											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1		=A2+			
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

⑤Bの該当欄を選択し、

	TINV											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1		=A2+E2			
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

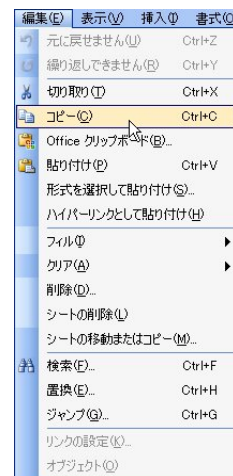
⑥[ENTER]キーを押すと、行列の先頭が計算されます。

	I3											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1		8			
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

⑦結果欄の先頭を選択し、

	I2											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1		8			
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

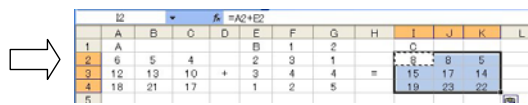
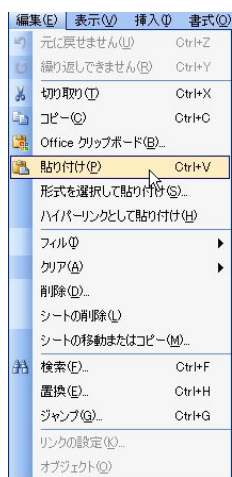
⑧「編集」「コピー」を選択します。([CTRL]+Cでもよい)



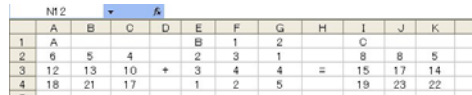
⑨結果の範囲を指定し、
(以下の例では、I2でクリックし、
左ボタンを押したまま、K4まで移動
して離しています)

	I2											
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	A				B	1	2		C			
2	6	5	4		2	3	1		8			
3	12	13	10	+	3	4	4	=				
4	18	21	17		1	2	5					

⑩「編集」「貼り付け」を選択します。(CTRL+Vでもよい)

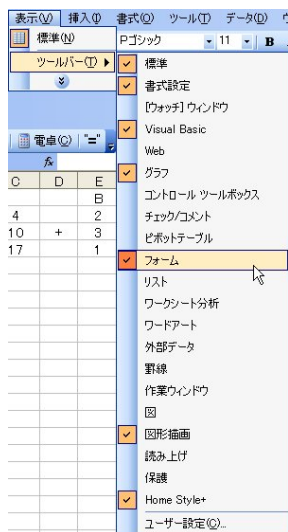


⑪選択範囲を解除して、結果を確認してみましょう。

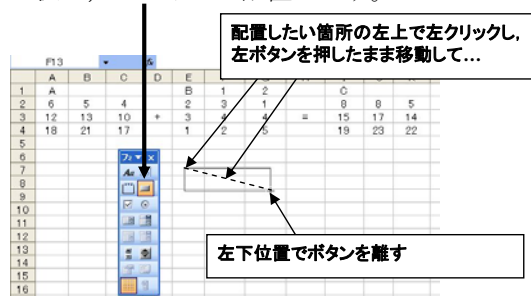


■VBAを使って行列の加算プログラムを作成

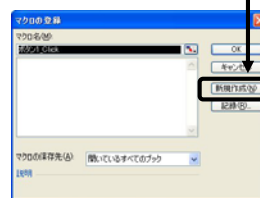
①「表示」「ツールバー」で「フォーム」にチェックを入れます。



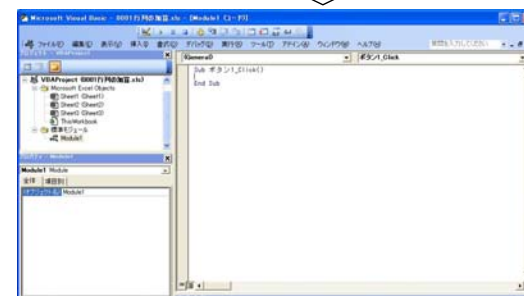
②フォームのツールバーからボタンを選択し、シート上に配置します。



③「マクロの登録」ダイアログが表示されるので、「新規作成」ボタンをクリックします。



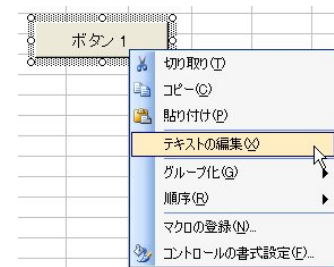
④VBのコードウィンドウになり ボタン1のイベントハンドラの枠組みが生成されています。



⑤コードウィンドウで表 2-1 のプログラムを入力します。

■行列の加算実行

①Excelシートに戻り、ボタン上で右クリックし、「テキストの編集」を選択します。



②ボタンの表示名をたとえば「加算」に変更して



③適当なセルを選択してテキストの編集モードを解除

